

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業

(継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額			86,600	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	47,630	事業期間	平成7年度～平成39年度	全体事業費	1,057,738
		地方債	35,000	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
	一般財源		3,970	施策の内容	8 橋梁震災対策の推進		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、安全な道路交通を推進します。

事業の概要

◎橋梁耐震対策事業(平成7年度～平成37年度)：橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図ります。

【これまでの経緯】耐震化予定の橋梁34橋のうち、17橋について落橋防止等を施工しました。

【今年度事業内容】国道6号6号橋耐震補強工事、国道6号7号橋耐震補強工事設計委託 計28,000千円

【今後の予定】平成37年度までに、34橋について耐震化工事を実施します。

◎橋梁長寿命化修繕事業(平成25年度～平成39年度)：老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図ります。

【これまでの経緯】市で管理している橋梁243橋のうち橋長15m以上の79橋について策定した橋梁長寿命化修繕計画(平成23年度)に基づき、橋梁12橋について修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】国道6号6号橋他1橋修繕工事、国道6号6号橋他1橋修繕詳細設計委託 計58,600千円

【今後の予定】平成39年度までに、修繕工事を完了させます。



国道6号6号橋
(中高津地内) 現況

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を将来にわたり確保することができます。

※平成29年度末進捗率(予定)：橋梁耐震対策事業 52.9%(前年度比2.9%増)、橋梁長寿命化修繕事業 17.7%(前年度比2.5%増)

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

— 48 —

道路新設改良事業

(継続)

担当 建設部
道路課

予算額			400,000	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	100,000	事業期間	平成29年度	全体事業費	400,000
		地方債	240,000	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		60,000	施策の内容	3 生活道路の整備		

事業の目的

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るとともに、歩行者及び自転車通行の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長 L=1,522,449m (6,927路線)
うち改良済延長 L= 719,109m (平成28年4月1日現在)

【今年度事業内容】

道路改良工事	29路線	L=3,060m	299,350千円
測量設計委託	9路線	L=3,150m	26,000千円
用地取得	21路線		18,990千円
物件移転補償	16路線		47,500千円
役務費（登記料等）			4,950千円
原材料購入			1,500千円
事務費等			1,710千円

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。



市道Ⅱ級9号線（田村町）整備状況

期待される効果・成果目標等

道路拡幅整備により日常生活の利便性の向上を図るとともに、歩行者・自転車通行の確保、緊急車両等の通行を可能にすることにより、市民の安全と交通事故の防止に寄与します。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業

(継続)

担当 建設部
下水道課

予算額			56,100	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	37,264	事業期間	平成29年度	全体事業費	56,100
		地方債	13,700	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	5 浸水被害に強いまちづくり		
	一般財源		5,136	施策の内容	1 都市下水路の整備		

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】 平成22年度から、西根竹の入都市下水路、天川上高津都市下水路等の整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】 西根竹の入都市下水路整備工事 L=50m 事業費 45,000千円

※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。

【今後の予定】 西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】 平成25年度から、虫掛・中高津・荒川沖地内等において整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】 田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L=80m 事業費 11,100千円

【今後の予定】 今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、生活環境の向上に寄与します。

亀城モール整備事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			102,691	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	50,000	事業期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	909,253
		地方債	45,000	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		7,691	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

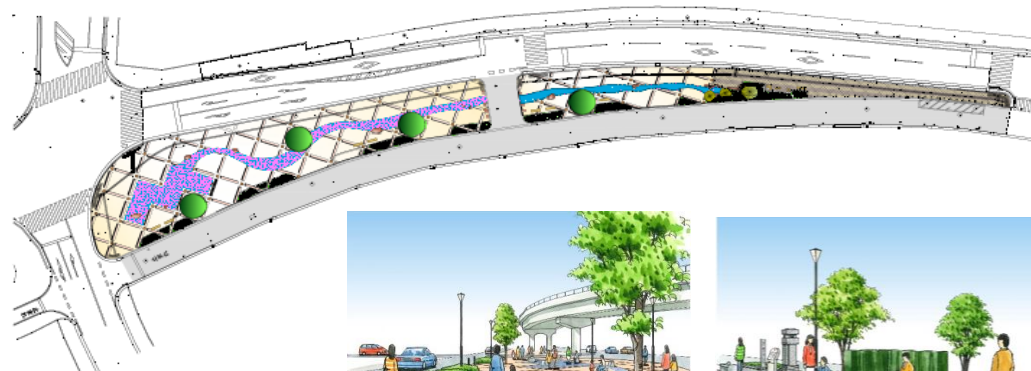
平成26年度 補償調査の実施、用地補償

平成27～28年度 用地補償

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
整備工事	100,000
柵設置工事	1,500
道路境界確定委託料	1,145
鑑定料等	46
計	102,691



整備イメージ

期待される効果・成果目標等

歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、市民や来訪者にとって潤いのある憩いの空間が形成されます。また、イベント等での活用を図ることにより、にぎわいを創出するとともに、中心市街地の更なる魅力向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦駅西口広場整備事業

(継続)

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			38,171	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	16,200	事業期間	平成25年度～平成29年度	全体事業費	898,634
		地方債	19,400	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
	一般財源		2,571	施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備		

事業の目的

土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業、土浦駅北通り線整備事業、土浦駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業に併せ、バリアフリー基本構想に合致した、人及び車等の利用者が安全・安心に移動できる広場への改修を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度からバスターミナルの改修工事等を進め、平成28年度は、一般車乗降場・タクシープールの改修工事等を施工しています。

【今年度事業内容】

平成29年度は、交差点改良工事等を施工します。

(単位：千円)		
区 分	概 要	事業費
工事請負費	交差点改良工事	32,400
工事請負費	交通安全施設設置等	5,400
委託料等	エレベーター保守点検等	371
計		38,171

【今後の予定】

平成29年度末までの事業完了を目指します。



土浦駅西口広場整備イメージ図

期待される効果・成果目標等

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し、交錯する動線を解消することや、広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより、安全性の向上が見込まれます。また、りそな銀行前の食い違い交差点を解消し、直交化することにより、広場に進入していた通過交通の排除及び交通の円滑化が図れます。

更に、シェルターやサイン等を併せて設置することで、利用者の利便性を向上し、公共交通機関の利用促進が図れます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

— 52 —

神立駅西口地区土地区画整理事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			927, 431	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成24年度 ～ 平成33年度	全体事業費	8, 610, 000
		地方債	806, 200	施策の大綱	2－3 産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 地域の特性を活かした市街地の整備		
	一般財源		121, 231	施策の内容	2 神立駅周辺地区の整備		

事業の目的

神立駅周辺地区において，土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し，質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度 仮換地指定（指定率100％），駅舎・自由通路整備協定締結

平成28年度 仮設駅前広場・仮駅舎供用開始，新駅舎・自由通路工事着工

【今年度事業内容】

(単位：千円)

概 要	事業費
建物等移転補償費	87, 570
駅舎橋上化・自由通路新設工事負担金	687, 750
公共施設整備工事費・東口暫定広場実施設計委託料等	120, 550
事務費・派遣職員人件費	31, 561
計	927, 431

【今後の予定】

本年10月区画整理工事着工，平成30年6月駅舎・自由通路一部供用開始



神立橋上駅舎イメージ図

期待される効果・成果目標等

駅前広場，都市計画道路，橋上駅舎や自由通路等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

常名虫掛線街路事業

(継続)

担当	都市整備部 公園街路課
----	----------------

予算額			262, 440	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	79, 105	事業期間	平成22年度 ～ 平成31年度	全体事業費	3, 188, 816
		地方債	159, 000	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		24, 335	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状線として、整備を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度末に、全延長1,435mのうち545mの供用を開始しました。

平成28年度は、道路改良舗装工事、道路修正設計及び流末排水路基礎調査を実施しています。

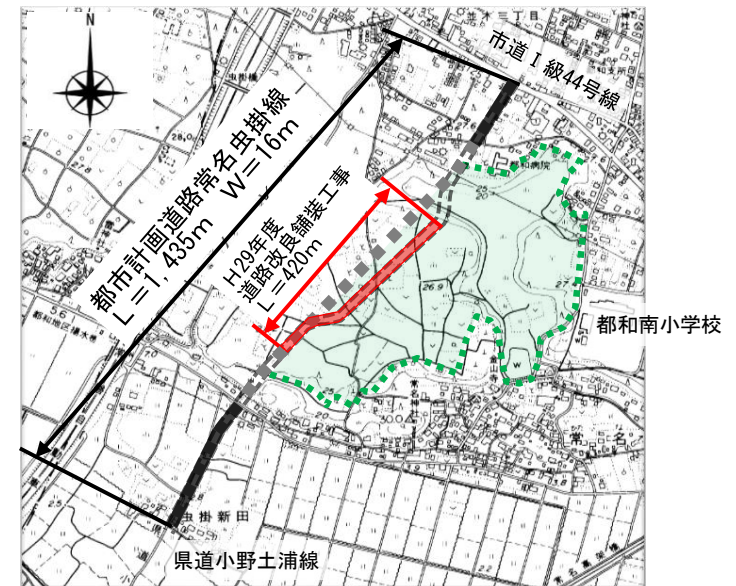
【今年度事業内容】

平成29年度は、道路改良工事や道路修正設計を実施します。

(単位：千円)		
区 分	概 要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	248,400
委託料	道路修正設計等	12,744
補償補填及び賠償金	物件補償（地下埋設物一式）	1,296
計		262,440

【今後の予定】

平成30年度末の供用開始（暫定整備）を目指します。



常名虫掛線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

中心市街地と並木地区（常磐自動車道土浦北インター）を結ぶ道路ネットワークの構築により、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上及び常名運動公園へのアクセスの向上につながります。

また、周辺自治体との新たなネットワークが強化され、観光交流の促進及び地域の復興・再生につながります。

神立停車場線街路事業

(継続)

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			94,430	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	45,100	事業期間	平成23年度～平成32年度	全体事業費	882,078
		地方債	42,700	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		6,630	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

神立駅西口地区土地区画整理事業及び木田余神立線街路事業に併せ、神立駅から国道6号までの区間を、本市とかすみがうら市が整備することにより、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成28年度は、用地買収及び物件補償を実施しています。

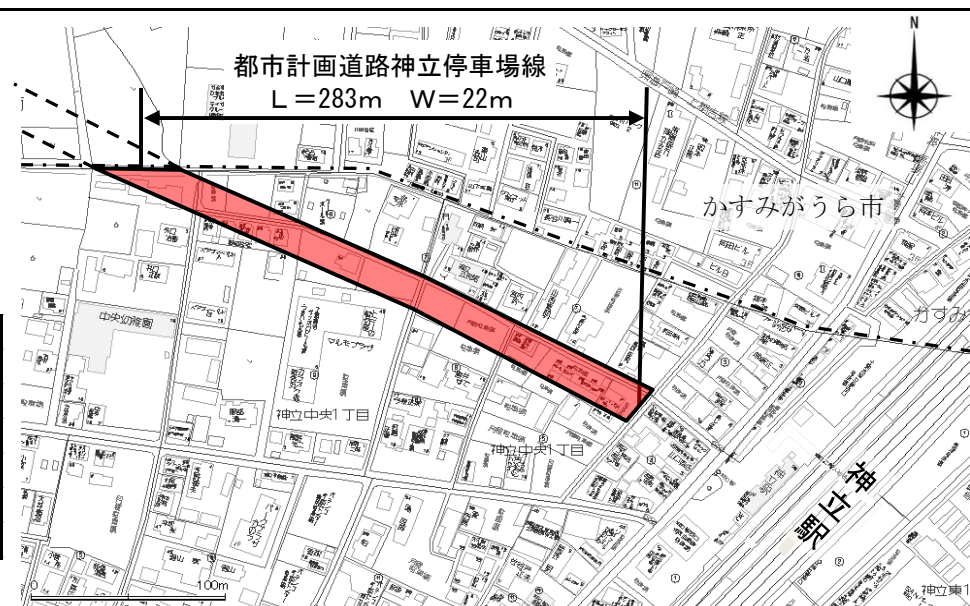
【今年度事業内容】

平成29年度は、用地買収、物件補償調査、物件補償及び道路修正設計を実施します。

区 分	概 要	(単位：千円) 事業費
公有財産購入費	用地買収	56,800
補償補填及び賠償金	物件補償	29,000
委託料	道路修正設計等	6,114
工事請負費	防護柵設置工事	1,296
役務費等	物件補償調査	1,220
計		94,430

【今後の予定】

平成31年度末の供用開始を目指します。



神立停車場線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

市北部地域の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境を創出します。また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保を図るなど、円滑な交通導線の確保と快適な環境の形成が図れます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

真鍋神林線延伸道路整備事業

(継続)

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			131,516	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	13,300	事業期間	平成24年度 ～ 平成29年度	全体事業費	1,231,945
		地方債	103,900	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		14,316	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することにより、広域的な地域間連携及び道路ネットワークの強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

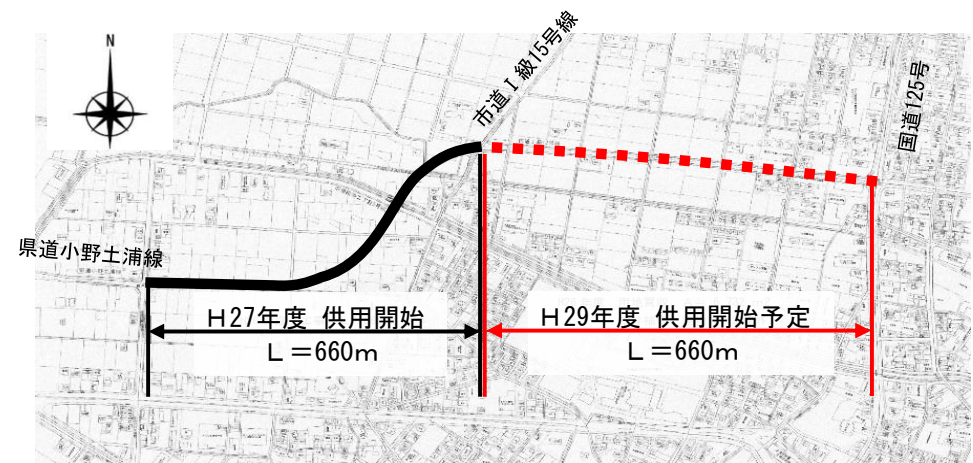
平成28年度は道路改良工事，道路舗装工事を実施しました。

【今年度事業内容】

平成29年度は用地買収，物件補償，道路改良工事，道路舗装工事等を実施し，年度末の全線供用開始を目指します。

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	97,524
補償補填及び賠償金	物件補償	14,775
公有財産購入費	用地買収	14,445
委託料	境界測量，道路台帳修正	2,964
需用費等	報酬，旅費等	1,808
計		131,516



真鍋神林線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

中心市街地の交通渋滞緩和による交通アクセス機能の向上はもとより，歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど，円滑で快適な交通体系の構築に寄与するとともに，本路線の隣接区域に新消防庁舎が建設されたことから，緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか，市営斎場へのアクセスも向上します。

田村沖宿線延伸道路整備事業

(継続)

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			315, 245	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	161, 238	事業期間	平成24年度 ～ 平成29年度	全体事業費	1, 679, 291
		地方債	135, 300	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		18, 707	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度末に、全延長2,900mのうち480mの供用を開始しました。
平成28年度は、用地買収、物件補償及び道路改良工事等を実施しています。

【今年度事業内容】

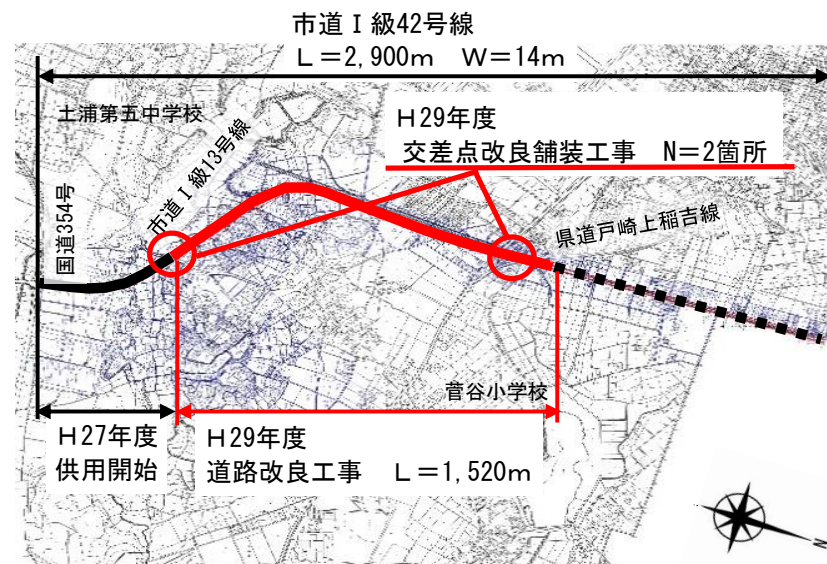
平成29年度は、用地買収、物件補償を進め、道路改良工事、交差点改良舗装工事等を施工します。

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	296,460
公有財産購入費	用地買収	8,669
補償補填及び賠償金	物件補償	5,819
委託料等	用地測量等	4,297
計		315,245

【今後の予定】

平成29年度末までに市道Ⅰ級13号線から県道戸崎上稲吉線までの供用を開始し、Ⅰ期事業完了を目指します。



田村沖宿線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院への交通アクセス向上が図れます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業

（継続）

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			440, 210	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	229, 735	事業期間	平成26年度 ～ 平成32年度	全体事業費	1, 280, 070
		地方債	189, 200	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源	21, 275	施策の内容	2 都市計画道路等の整備			

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（Ⅰ期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成28年度は、用地測量、不動産鑑定及び用地買収等を実施しています。

【今年度事業内容】

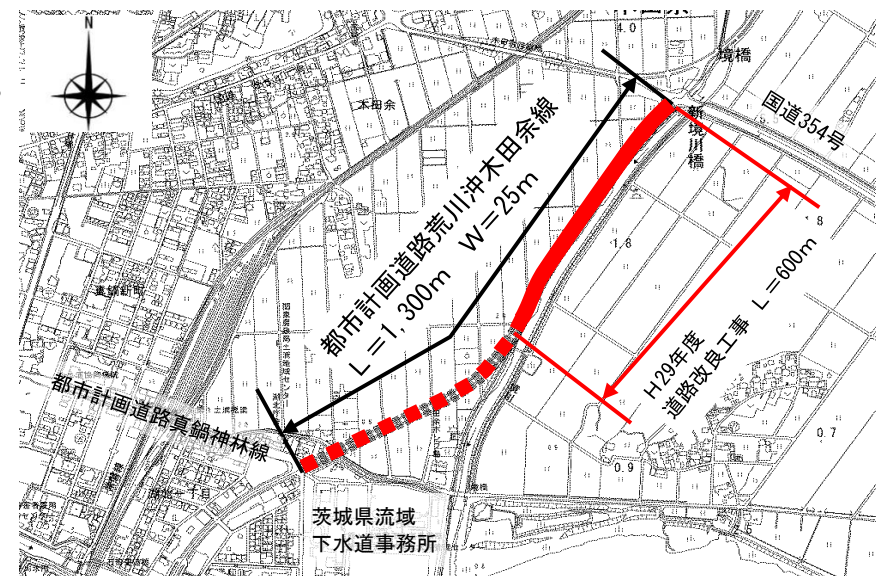
平成29年度は、用地買収、物件補償を進め、道路改良工事、交通安全施設工事を施工します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	279,180
公有財産購入費	用地買収	141,550
補償補填及び賠償金	物件補償	19,400
需用費	消耗品	80
計		440,210

【今後の予定】

平成32年度末までの事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

ボトルネックの解消により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、通過交通の排除により、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

— 58 —

まちなか定住促進支援事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			21,340	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	10,670	事業期間	平成29年度	全体事業費	21,340
		地方債		施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
	一般財源		10,670	施策の内容	3 まちなか居住の促進		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を活用し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎実績

年度	家賃補助	建替え・購入補助
平成26年度	2件	8件
平成27年度	20件	20件
平成28年度	34件	34件

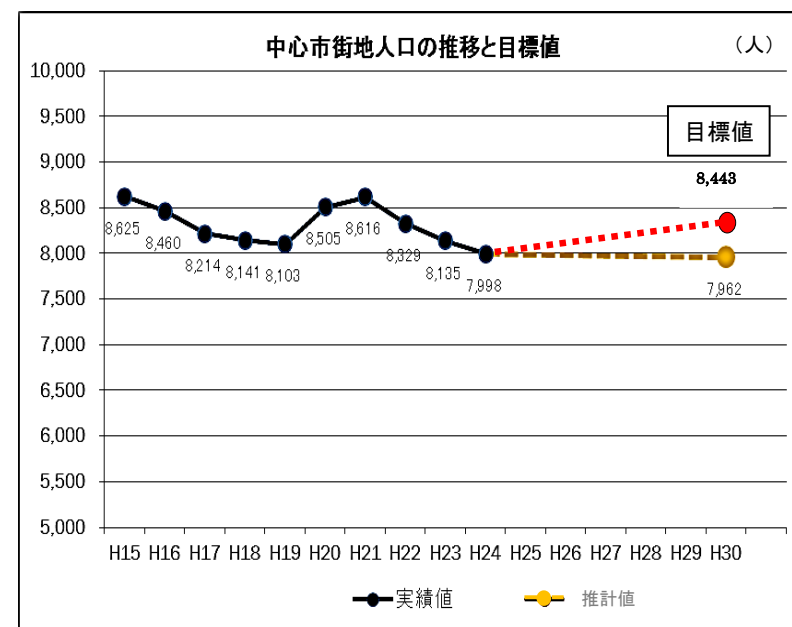
※平成28年度実績は平成28年11月末現在

【今年度事業内容】

- ①まちなか住宅建替え・購入借入金補助 10,000千円
中心市街地エリア内の住宅建替え、又は住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ②まちなか賃貸住宅家賃補助 11,340千円
土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助します。

【今後の予定】

計画期間の平成30年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。



期待される効果・成果目標等

居住人口の増加により、中心市街地での活力とにぎわいの創出に寄与します。
(中心市街地居住人口 目標値：8,443人（平成30年）)

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦港周辺広域交流拠点整備事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			15,847	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	5,130	事業期間	平成27年度～平成30年度		全体事業費
		地方債	8,600	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備		
	一般財源		2,117	施策の内容	2 公園・緑地の整備		

事業の目的

公共と民間の連携により、中心市街地における憩いの場として広く市民に開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間を整備し、水辺のにぎわいを創出します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成22年度 (株)プロパストより用地取得
- 平成23年度 暫定広場整備工事を開始
- 平成24年度 まちなかグランドデザイン策定委託
- 平成27年度 川口二丁目地区官民連携導入条件調査委託
- 平成28年度 土浦港周辺広域交流拠点基本計画策定委託

【今年度事業内容】

- 土浦港周辺広域交流拠点基本計画に基づき、市が先行整備する施設の設計を行います。
- 事業費 センター施設設計委託料：5,400千円 緑地設計委託料：10,260千円
報償費等：187千円

【今後の予定】

設計内容に基づき、施設の整備工事を行うとともに、民間事業者の参入を促します。



川口二丁目地区の開発イメージ

期待される効果・成果目標等

本市の貴重な自然資源である霞ヶ浦や隣接する「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を生かして、にぎわいと交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

消防団車庫整備事業

(継続)

担当 消防本部
総務課

予算額			24,038	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成29年度	全体事業費	24,038
		地方債	24,000	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実		
	一般財源		38	施策の内容	1 消防力の充実		

事業の目的

消防団の防災活動拠点である消防団車庫を整備し、消防体制の充実・強化を図ります。

事業の概要

昭和46年建築で老朽化が著しく、耐震性能も満たしていない第33分団（上坂田）の既存車庫を解体し、新たに建物を整備します。

(新築建物の概要)

土地	予定地	土浦市上坂田1135番1
	所有者	上坂田町会
	地目	宅地
	地籍	308.25㎡
家屋	構造等	軽量鉄骨造2階建
		1階：車庫，2階：詰所
	床面積	64㎡程度



平成26年度建築 消防団車庫（第34分団 下坂田）

期待される効果・成果目標等

老朽化した消防団車庫を計画的に更新整備することにより、消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費／小学校費／中学校費
---	-----	---	-----------------

新治地区小中一貫教育学校整備事業

(継続)

担当 教育委員会
教育総務課/学務課

予算額		1, 228, 928	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特定 財 源	国県支出金	256, 051	事業期間	平成26年度 ～ 平成29年度	全体事業費
		地方債	733, 300	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり	
		その他	0	施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実	
	一般財源		239, 577	施策の内容	1 1 小中学校の適正配置	

事業の目的

藤沢小，斗利出小，山ノ荘小の3小学校を1校に統合し，新治中学校敷地内に施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）を整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

基本計画策定委員会の提言に基づき，平成26～27年度の2か年で基本・実施設計を実施し，平成28年8月に校舎増築工事，12月に既存校舎改修工事に着手しました。

【今年度事業内容】

平成30年4月の開校を目指し，引き続き施設整備を行います。

「新治学園義務教育学校開校準備協議会」では，校歌の制定や閉校記念事業の準備及び通学対策など開校に向けた地元協議を進めます。

施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）における教育内容については「小中一貫教育運営協議会」で検討します。

◎工事スケジュール

工種	平成28年度	平成29年度
校舎増築工事 既存校舎改修工事	←	→
屋内運動場改修工事 グラウンド等外構改修工事		←



完成予想図

平成29年度の事業費 (単位：千円)		
区 分	概 要	事業費
旅費	工場検査	45
報償費	閉校式時出演者謝礼等	400
需用費	カーテン等消耗品，閉校式・開校式典用消耗品等	12, 763
役務費	引越費用・完了検査手数料，切手等	7, 120
委託料	工事監理委託料，ICT移設委託料	23, 813
工事請負費	増築工事，プール解体工事，外構工事	1, 165, 387
備品購入費	増築校舎及び既存校舎用備品購入	19, 400
計		1, 228, 928

期待される効果・成果目標等

施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）を整備することで，9年間の連続した学びとともに日常的に異学年交流等が図られることから，児童生徒の社会性や協調性の向上につながります。さらに，小中学校教員の連携が図られることから，より良い生徒指導体制を確立することができます。

款	教育費	項	幼稚園費
---	-----	---	------

市立幼稚園適正配置事業

(新規)

担当 教育委員会
学務課

予算額			16	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事 業 期 間	平成27年度 ～ 平成33年度	全体事業費	22
		地 方 債		施 策 の 大 綱	2－5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		そ の 他		施 策 名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
	一般財源		16	施 策 の 内 容	1 幼児期の教育の推進		

事業の目的

市立幼稚園の再編計画に基づく適正配置を行うことで、より良い教育環境の充実を図ります。

事業の概要

市立幼稚園の園児数が年々減少し、定員を大きく下回っていることから、幼児の健やかな成長のための適当な環境を維持することが難しくなっています。このため、近年の幼稚園需要の変化を考慮し、本市の幼稚園教育全体の充実を目指すことから、市立幼稚園の再編計画に基づき適正配置を実施します。

【これまでの経緯】

- 平成27年度 土浦市立幼稚園適正配置内部検討委員会の開催（5月～2月）
- 平成28年度 土浦市立幼稚園の再編計画の策定（5月）
 - ・平成30年3月末 土浦第二幼稚園、都和幼稚園及び大岩田幼稚園を廃止〈条例可決〉
 - ・平成34年3月末 土浦幼稚園及び新治幼稚園を廃止〈予定〉
- 土浦市幼稚園連絡協議会の開催（9月～3月）

【今年度事業内容】

- 平成29年度 市内幼稚園の課題の認識及び課題解決を図るため、引き続き土浦市幼稚園連絡協議会を開催します。

【今後の事業内容】

- 市立幼稚園の再編計画に基づく円滑な適正配置に努めます。

期待される効果・成果目標等

就学前教育の重要性に鑑み、一定集団の確保や、互いに切磋琢磨して成長する教育環境の充実が図れます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

武者塚古墳出土品保存台製作事業

(継続)

担当 上高津貝塚ふるさと
歴史の広場

予算額			2,257	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	1,078	事業期間	平成28年度～平成30年度	全体事業費	6,816
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	1,179	施策名	4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		0	施策の内容	4 埋蔵文化財の保護と活用		

事業の目的

平成26年度に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存することで、本市の教育普及事業の更なる充実を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

さびなどが発生した出土品への保存処理と、玉類の保存台製作を行いました。

【今年度事業内容】

銀製品や銅製品、鉄製大刀などの出土品について、展示にも使用できる保存台を製作します。

【今後の予定】

全国でも発見例の稀な古代人の髪型「美豆良（みずら）」について保存の調査研究を行い、適切な保存台を製作します。



銀装の大刀



銅製の杓



銀製の帯状金具

期待される効果・成果目標等

武者塚古墳は、今から約1,400年前に造られた豪族の墓で、埋められたままの状態を保ち発見されました。この出土品は、当時の社会を考える上で一級の重要資料であり、末永く保存することで、本市の宝として展示等の教育普及事業に役立てられます。

市民会館耐震化及び大規模改造事業

(新規)

担当 教育委員会
文化課

予算額			50,100	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	10,927	事業期間	平成29年度 ～ 平成30年度	全体事業費	1,003,144
		地方債	25,900	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	0	施策名	4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		13,273	施策の内容	2 文化施設等の整備充実		

事業の目的

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、老朽箇所等の大規模な改造を行い、施設を安心・安全に利用できるように整備します。

事業の概要

【今年度事業内容】

施設の耐震補強及び大規模改造工事設計を行います。

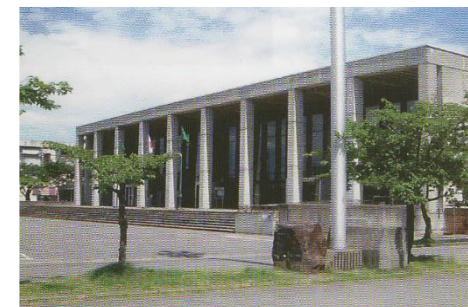
市民会館耐震補強設計	21,855千円
市民会館大規模改造設計	18,158千円
機械室耐震診断	4,598千円
機械室耐震設計	5,489千円
合計	50,100千円

〔施設の概要〕

- ・構造 鉄筋コンクリート造（地上3階）
- ・延床面積 5,657㎡
- ・竣工 昭和44年2月

【今後の予定】

耐震補強及び大規模改造工事設計に基づき、施設の耐震補強及び大規模改造工事を実施します。



土浦市民会館

期待される効果・成果目標等

文化・芸術活動の拠点として、市民等が安心して利用できるように、施設の安全性を確保します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

新図書館施設整備事業／美術品展示室整備事業

(継続)

担当	教育委員会 図書館/文化課
----	------------------

予算額			1,727,899	(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金	388,284	事業期間	平成25年度～平成30年度	全体事業費
		地方債	965,600	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり	6,521,184
		その他	31,869	施策名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興, 4 文化・芸術活動の振興	
	一般財源		342,146	施策の内容	4 新図書館の整備・推進, 2 文化施設等の整備充実	

事業の目的

土浦駅前北地区市街地再開発事業の複合施設として、市民の生涯学習活動や芸術文化活動の拠点となるとともに、街や人を元気にする交流拠点として、集客やにぎわいを創出する新しい図書館及びギャラリーの整備を行います。

事業の概要

【これまでの経緯】 平成25年度 基本設計, 26年度 実施設計, 27年度 実施設計修正, 28年度 内装工事着工, 図書選書・購入

【今年度事業内容】

◎図書館



図書館完成イメージ

・内装工事, 監理	537,849千円
・引越費用	11,800千円
・開館準備業務委託	11,900千円
・備品等購入	83,998千円
・図書等資料, 装備品	181,425千円
・非常勤職員司書報酬	1,761千円
・駅北特会繰出金	546,237千円

◎ギャラリー



ギャラリー完成イメージ

・内装工事, 監理	232,722千円
・引越費用	600千円
・備品等購入	13,610千円
・くん蒸	595千円
・電話導入	37千円
・駅北特会繰出金	105,365千円

【今後の予定】

土浦駅前北地区市街地再開発事業に合わせて、内装工事、備品購入、図書購入、引越作業等を進め、平成29年11月の開館を目指します。

期待される効果・成果目標等

新図書館においては、快適で魅力的な読書空間をつくり、また、図書等の豊富な資料を整備することにより、市民の多様なニーズに応え、市民生活の支援と生涯学習活動のより一層の拡大・充実を図ります。また、ギャラリーは、市民の芸術文化活動の発表や、市収蔵品を活かした展覧会の開催などにより、市民が芸術文化と触れ合う機会を提供します。

新図書館 I C T 推進事業

(新規)

担当 教育委員会
図書館

予算額			29,947	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	0	事業期間	平成29年度	全体事業費	29,947
		地方債	0	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	0	施策名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興		
	一般財源		29,947	施策の内容	4 新図書館の整備・推進		

事業の目的

生涯学習と情報の拠点、市民の交流拠点としての新図書館の整備において、市民の利便性の向上や情報提供の充実を図るため、図書館の管理運営業務に図書館システム等の I C T 関連システムの導入、活用を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

◎図書館システム賃借料	24,399千円
◎複写機賃貸借、使用料	1,058千円
◎有料データベースシステム	492千円
◎電子書籍	1,498千円
◎座席予約システム	2,500千円
計	29,947千円



自動貸出機イメージ

【今後の予定】

平成29年度の新図書館の開館に向け、図書館システム等の各種システムや、デジタル情報提供の高度化を図ります。

期待される効果・成果目標等

自動貸出、自動返却などの図書館システム、電子書籍や各種新聞記事等の有料データベースシステム等の I C T 関連システムの導入により、運営面やサービス面での効率化を図ることができ、市民の利便性向上や、情報提供の充実が期待できます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

美術品公開推進事業

(新規)

担当	教育委員会 文化課
----	--------------

予算額			3,320	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成29年度	全体事業費	3,320
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	200	施策名	4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		3,120	施策の内容	1 芸術文化活動の推進		

事業の目的

土浦駅前北地区再開発施設内に今秋オープンする予定の市民ギャラリーのオープニングイベントとして、茨城県近代美術館との共催による美術展覧会と、第70回記念となる市民参加の公募型美術展である「土浦市美術展覧会」を開催します。また、平成28年度市民協働ワークショップでの提案を具体化していくための準備を行います。

事業の概要

【今年度事業内容】

《オープニング企画 第1弾》 土浦市民ギャラリー開館記念・茨城県近代美術館巡回展

会期：平成29年11月オープン～平成30年1月上旬（予定）

県近代美術館所蔵の茨城ゆかりの洋画家たちの優品コレクションが、県内の美術館・博物館を巡回します。土浦市民ギャラリーではオープニングイベントの一環として、市収蔵美術品と組み合わせた独自の展示構成により一般公開します。

《オープニング企画 第2弾》 第70回土浦市美術展覧会

会期：平成30年1月下旬（予定）

70年目を迎え、茨城県下でもっとも歴史のある市民公募型の美術展覧会を、新しいギャラリーで開催します。



つね
中村彝「静物」1916年
茨城県近代美術館所蔵

【今後の予定】

市民協働ワークショップでの提案を踏まえて、平成30年度以降の市民ギャラリーで実施するイベントの検討を進めます。

期待される効果・成果目標等

茨城県近代美術館との共催による巡回展を開催することにより、市民が優れた美術作品を鑑賞する機会を創出することができます。また、市展の開催や市民協働ワークショップによる提案イベントの実施により、市民の芸術文化の発信拠点に相応しい活動を展開し、市民の交流によるにぎわいの創出、中心市街地の活性化に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

川口運動公園野球場観覧席，夜間照明灯及び関連施設整備事業（継続）

担当 教育委員会
スポーツ振興課

予算額			787,564	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	2,239,973
		地方債	568,600	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	2,270	施策名	5 適正な公共施設の維持管理と整備		
	一般財源		216,694	施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実		

事業の目的

老朽化が著しく，狭あいな野球場の観覧席を新設します。また，平成31年度の茨城国体で軟式野球の会場として予定されていることから，併せて夜間照明灯の整備を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度に観覧席基本・実施設計を策定しました。平成27年11月から既存観覧席の解体工事を行い，平成27年度～平成29年度の継続費を設定した上で観覧席の基礎工事及び躯体工事並びに夜間照明灯設置工事を行っています。

【今年度事業内容】

・主な工事内容

内外装工事，座席取付工事，給排水管敷設工事，機械器具取付工事，機器等試運転

・事業費内訳

(単位：千円)

内 訳	金 額
工事に関する費用(H27～H29継続費設定)	758,194
完了検査手数料	257
備品購入費	6,000
維持管理に関する費用	23,013
開場時諸経費	100
計	787,564

・供用開始 平成29年7月（予定）



川口運動公園野球場完成イメージ

期待される効果・成果目標等

利用者の利便性，観客の観戦環境の向上及び安心・安全な施設運営に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

茨城国体準備事業

(継続)

担当	教育委員会 国体推進課
----	----------------

予算額			7,096	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	269,203
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興		
	一般財源		7,096	施策の内容	2 競技スポーツの充実		

事業の目的

平成31年に開催が決まった第74回国民体育大会(茨城国体)の円滑な運営に必要な準備を行います。「2019茨城国体土浦市実行委員会」では、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って大会の開催ができるよう準備に取り組んでいきます。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・平成28年 5月 「第74回国民体育大会土浦市準備委員会」を設立。常任委員会及び4部門の専門委員会を開催し、国体PR活動や大会視察等を実施。
- ・平成28年11月 第2回土浦市準備委員会総会において「2019茨城国体土浦市実行委員会」に改組。

【今年度事業内容】

- ・「2019茨城国体土浦市実行委員会」の運営(実行委員会運営負担金：7,096千円)
- ・市民の関心や理解を深めるためのホームページや啓発グッズの作成。
- ・平成30年開催のリハーサル大会及び本大会会場のレイアウト設計を委託。

【今後の予定】

○平成30年度に各競技のリハーサル大会を実施。

○開催競技日程〔競技会場〕

- ・水球(少年男子・女子)：平成31年9月13日～平成31年9月16日〔土浦第二高等学校プール〕
- ・軟式野球(成年男子)：平成31年10月4日～平成31年10月5日〔川口運動公園野球場〕
- ・相撲(全種別)：平成31年9月29日～平成31年10月1日〔霞ヶ浦文化体育会館〕
- ・高等学校野球(軟式)：平成31年9月29日～平成31年10月2日〔川口運動公園野球場〕

いばラッキー



(いきいき茨城ゆめ国体キャラクター)



相撲競技開会式の様子

期待される効果・成果目標等

- ・スポーツへの関心を高め、更なるスポーツ活動の普及・発展に大きく寄与するとともに、交流人口の増加が図られ、まちの活性化につながります。
- ・歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、本市ならではの個性と魅力を全国にアピールする絶好の機会となります。
- ・大会開催に向けての市民と行政が一体となった取組みは、ボランティアや市民活動の活発化等、市全体の絆や連帯感を深めます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

— 70 —

学校給食センター再整備事業

(継続)

担当 教育委員会
学務課

予算額			118, 295	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成 24年度 ～ 平成32年度	全体事業費	3, 538, 757
		地 方 債	77, 300	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		そ の 他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
	一般財源		40, 995	施策の内容	8 学校給食の充実		

事業の目的

第一学校給食センター及び第二学校給食センターは、施設設備の老朽化が著しく、また、耐震基準を満たしていないことなどから、新治庁舎跡地に、現在2箇所ある施設を1箇所に統合して再整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・平成24～25年度にかけて再整備基本構想を策定し、平成25年度に事業手法検討調査を実施しました。
- ・平成28年度に1センター方式として新治庁舎跡地に建設することを決定しました。
- ・その後、厨房機器業者を選定し、基本・実施設計を実施しています。

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	45, 754	基本・実施設計・地質調査委託料（平成28～29年度継続費）
	500	旧新治庁舎什器等処分委託料
工事請負費	72, 041	旧新治庁舎他3棟解体工事、敷地内記念碑・記念樹木等移設工事

【今後の予定】

- ・平成30～31年度 新学校給食センター建設工事
- ・平成32年1月 供用開始（予定）



建設予定地（新治庁舎跡地）

期待される効果・成果目標等

新しい学校給食センターを整備し、安心・安全でおいしい学校給食を継続して提供することができます。また、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応が可能な施設とし、地産地消や食育の推進にも寄与します。